

# 事業報告書

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日

社会福祉法人 西春福社会

## 1.法人運営の状況

### (1)理事会の開催

理事会を次のとおり開催した。

令和元年6月4日(火)

出席者	理事	高桑金平 長岩嘉文 阿部久邇夫 水野高作 岡部憲子
	監事	高柳利清
	事務局	山田雅貴
欠席者	監事	橋本俊也

付議事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 平成30年度社会福祉法人西春福社会事業報告について</li><li>・ 平成30年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金収支決算について</li><li>・ 社会福祉法人西春福社会役員候補者の選任について</li><li>・ 社会福祉法人西春福社会定時評議員会について</li><li>・ 社会福祉法人西春福社会職員給与規程の改正について</li><li>・ 理事長の職務執行状況について</li></ul>
------	---

令和元年6月20日(木)

出席者	理事	高桑金平 阿部久邇夫 水野高作 重松順太 岡部憲子
	監事	高柳利清 橋本俊也
	事務局	山田雅貴
欠席者	理事	長岩嘉文

付議事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 社会福祉法人西春福社会理事長の選任について</li></ul>
------	---

令和元年11月8日(金)

出席者	理事	高桑金平 阿部久邇夫 水野高作 重松順太 岡部憲子
	監事	高柳利清 橋本俊也
	事務局	山田雅貴
欠席者	理事	長岩嘉文

付議事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 工事請負契約の締結について</li><li>・ 理事長の職務執行状況について</li></ul>
------	--

令和2年2月5日(水)

出席者 理事 高桑金平 長岩嘉文 阿部久邇夫 水野高作  
岡部憲子  
監事 高柳利清  
事務局 山田雅貴  
欠席者 監事 橋本俊也

付議事項

- ・ 社会福祉法人西春福社会評議員候補者の選任について
- ・ 理事長の職務実行状況について

令和2年3月16日(月)

出席者 理事 高桑金平 長岩嘉文 阿部久邇夫 水野高作  
岡部憲子  
監事 高柳利清 橋本俊也  
事務局 山田雅貴

付議事項

- ・ 令和元年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金収支補正予算(第1号)(案)について
- ・ 令和2年度社会福祉法人西春福社会事業計画(案)について
- ・ 令和2年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金収支予算(案)について
- ・ 社会福祉法人西春福社会第2回評議員会の開催について
- ・ 社会福祉法人西春福社会職員給与規程の改正について

#### (1)評議員会の開催

評議員会を次のとおり開催した。

令和元年6月20日(木)

出席者 評議員 入江徹男 酒井知子 檜吉真壽 福井昌子  
森川妙子 安井重來  
理事長 高桑金平  
監事 高柳利清 橋本俊也  
事務局 岡部憲子 山田雅貴  
欠席者 評議員 堀場金幸

付議事項

- ・ 平成30年度社会福祉法人西春福社会事業報告について
- ・ 平成30年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金決算について
- ・ 社会福祉法人西春福社会役員の選任について

令和2年3月25日(水)

出席者 評議員 入江徹男 酒井知子 福井昌子  
堀場金幸 森川妙子

理事長 高桑金平  
監 事 高柳利清 橋本俊也  
事務局 岡部憲子 山田雅貴  
欠席者 評議員 青木勲男 檜吉真壽

- 付議事項
- ・ 令和元年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金収支補正予算(第1号)(案)について
  - ・ 令和2年度社会福祉法人西春福社会事業計画(案)について
  - ・ 令和2年度社会福祉法人西春福社会社会福祉事業会計資金収支予算(案)について

### (3) 監事による監査

- ・ 令和元年5月21日(火)、高柳利清・橋本俊也両監事により、平成30年度社会福祉法人西春福社会 事業報告・決算及び関連事項について監査を受けた。
- ・ 令和元年11月14日(木)、高柳利清・橋本俊也両監事により、令和元年度社会福祉法人西春福社会 上半期決算及び関連事項について監査を受けた。

## 2. 施設運営の状況

令和元年度は、社会福祉充実計画に基づき、作業所大規模修繕を行った。利用者が毎日通所する中での工事だったが、安全に配慮し無事完工することができた。同じく社会福祉充実計画にあがっているグループホームの土地については地主の了承を得て、令和2年度に土地の取得に向けて手続きを進めていく段階に入っている。

令和2年2月以降は、新型コロナウイルス感染予防対策として、手指消毒・換気・給食時の利用者の対面席の中止・送迎車の利用人数の制限・通所前の検温等を実施している。近隣の施設と連携をして、感染予防に努めている。利用者の生産活動への影響は、下請け作業については出ていないが、クッキー販売が公共施設の閉鎖等により中止となっているため収益減は免れない状況である。

令和2年2月までは例年同様、地域住民に作業所への認知度を高めるため、積極的に市内の行事に参加した。

### (1) 地域交流事業

作業所まつりの開催の他、北名古屋市等で開催される各種行事に参加するとともに、当作業所の自主製品であるクッキーの販売を行った。

#### < 実修行事及び参加行事 >

- ・ 平和夏まつり(8月3日、4日)
- ・ にしはるひまわり作業所まつりの開催(10月27日)  
社会福祉法人西春福社会、にしはるひまわり作業所親の会主催でまつりを開催した。ボランティアの協力を得て、模擬店やバザーを行った。
- ・ 商工祭(11月3日)
- ・ 障害者スポーツ交流大会(11月16日)
- ・ ふれあいフェスタ(11月23日)
- ・ 福祉映画会(2月15日)

## (2) 施設間交流行事

北名古屋市内にある他の障害者施設と合同で行事を行い、利用者の交流を図るとともに、協力団体に知的に障害がある方についての理解を深めてもらった。

### < 実施行事 >

- ・ 三施設合同運動会(4月26日)  
にしはるひまわり作業所、あかつき作業所、セルフしかつの三施設合同で運動会を行った。北名古屋市ボランティア連絡協議会・北名古屋市スポーツ推進委員の皆様にご協力いただいた。
- ・ 餅つき大会(1月18日)  
北名古屋市商工会青年部主催で、にしはるひまわり作業所、セルフしかつ合同で、餅つき大会をした。
- ・ ボウリング大会(2月21日)  
尾張中央ロータリークラブ主催で、にしはるひまわり作業所、セルフしかつ合同でボウリング大会を実施した。

## (3) 日赤奉仕団共同事業

日赤奉仕団と当作業所、共同で農作物の収穫や料理実習を行った。

### < 実施事項 >

- ・ 玉葱の収穫(5月29日)
- ・ さつまいもの収穫(10月30日)
- ・ 料理実習(12月5日)

## (4) 施設外研修事業

施設外に出掛け、見聞を深めた。

### < 実施事項 >

- ・ 社会見学 「黒壁スクエア」見学  
「ヤンマーミュージアム」見学 (11月22日)

## (5) 健康管理事業

利用者の健康状況を把握するために健康診断を実施した。

### < 実施事項 >

- ・ 歯科検診(7月4日)  
愛知県歯科医師会の協力で歯科検診、歯磨き指導を実施した。
- ・ 健康診断(9月27日)  
(財)名古屋公衆医学研究所集団検診センターに依頼し、施設内で健康診断を実施した。
- ・ 毎月1回、嘱託医による回診を実施した。
- ・ 毎月1回、看護師による体重測定・血圧測定を実施した。

## (6) 防災対策事業

有事に備え避難訓練等を実施した。

### <実施事項>

- ・ 消防避難訓練、通報訓練(9月12日、2月27日)  
地震に因り火災が起きたと想定し、訓練を実施した。避難訓練終了後、消火器の使用方法について説明を受け、水消火器を使用し消火訓練も行った。

## (7) 文化的活動体験事業

季節及び年の節目ごとの行事を実施した。

### <実施項目>

- ・ クリスマス会(12月23日)  
ボランティアによるオカリナ演奏やゲームを楽しんだ。
- ・ 仕事納め(12月27日)  
保護者同伴で、作業所内の大掃除を行ない、その後昼食をバイキング形式で実施した。
- ・ 仕事始め(1月6日)  
保護者同伴で、実施。令和2年の抱負を発表し、親子ペアを組みゲームを行った。
- ・ 節分(2月3日)  
文化活動で作ったお面を付け、豆まきを行った。

## 3. 令和元年度決算の状況

### (1) 法人全体及び貸借対照表について

社会福祉法人として地域における公益性を発揮するため、法人・施設の財務管理の側面からいえば、中長期にわたる事業経営管理が重要視される。そこで、以下の指標で当法人の財務分析をした。

- ・ 自己資本比率  
法人の安全性を示す指標で比率が高いほど安定しているといえる。一般に50%が目安とされている。  
当法人の自己資本比率は、97%である。
- ・ 固定比率  
法人の長期的な安定性を示す比率。長期に保有する固定資産は、短期的に返済を迫られる資金を充てるのは不都合であり、なるべく自己資本によって調達されるべきで100%を切るのが理想とされている。  
当法人の固定比率は、66%である。
- ・ 流動比率  
短期(1年以内)の負債の支払い能力を表す比率。  
当法人の流動比率は、2,381%と高い数値を示している。  
当面の負債に対する支払い能力は十分といえる。

(2)生産活動事業について

令和元年度生産活動事業総収入高は、6,761,395円であった。前年度と比較すると206,605円増加した。自動車部品の組付けの仕事が新たに加わったことと、ボカシの生産量が昨年度は減産となったが今年度は増産に転じたことが、収益増につながった。配分金平均支給額は、一人一ヶ月あたり16,596円であった。前年度と比較すと188円増加した。

各事業ごとに、令和元年度、平成30年度を比較すると次の表のとおりとなる。

生産活動収入比較表 (R1・H30)

